

世界史 A 学習指導案

1. 日時：令和元年5月31日（金）1限目（8：55～9：45）
2. 学級：1年A組（男子17人、女子23人 計40人）
3. 場所：1年A組
4. 教材：「明解世界史A」（帝国書院）

5. 単元計画

1部 世界の一体化と日本

3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺

1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命（7時間）

1. イギリスから独立するアメリカ（本時）
2. ヨーロッパ近代化の出発点 フランス革命
3. ナポレオンの支配からウィーン体制へ
4. フランス革命と社会生活の変化
5. 大西洋を越えて広がる革命の波
6. 産業革命という大変革の開始
7. 資本主義の発展と社会主義運動の発生

6. 教材観：本単元ではアメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。本時はアメリカの独立について学ぶ。イギリスによる13植民地が形成され、七年戦争による戦費に苦しんだ本国は、植民地にさらなる課税を負担させる。その本国の課税に反対する運動が独立革命の起点となった。独立戦争がおこり、本国優勢の中で、ヨーロッパ諸国の支援が大きな役割を果たした。合衆国憲法が定められ、現在のアメリカ合衆国の基礎が築かれた。独立宣言と合衆国憲法を貫く自由と平等の精神は、ヨーロッパ諸国の運動に大きな影響を与えた。しかし、そこには独立以前と変わらない黒人奴隷と先住民の扱いがあった。

7. 生徒観：本クラスの生徒は穏やかで真面目である。授業に対する姿勢は真面目であり、授業内容をノートに取ることは熱心に行っている。一方で発問に対する反応は良いとは言えず、クラスメイトおよび教員とのやり取りを促進したい。そのためにグループワークを用い、主体的に授業に参加できるようにしたい。世界史に対する苦手意識を持つ生徒は多いが、彼らの持つ知識やイメージと結びつけて考えることができると、納得している様子がうかがえる。

8. 指導観：アメリカ独立の経緯を理解し、独立革命の背景となった国際関係や近代思想との関連を意識させる。アメリカの独立については、高校生までに一通り学習している内容であり、語句の意味についてはある程度覚えていてと考えられる。そこで生徒がこれまで身に付けた知識やイメージと結びつけて、自ら考え、納得して理解できるように授業を展開する。また50分の授業の中で、発言を促すような発問をできる限り取り入れる。

9. 単元の目標：アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。

10. 本時の目標

- ① アメリカ独立革命の背景である国際関係と近代思想について考察し、その経緯について理解する。
- ② アメリカ独立革命が世界に与える影響について理解する。

11. 評価基準

- (1) 社会的事象への〈関心・意欲・態度〉
アメリカ独立革命を学ぶにあたって、グループワークに意欲的に取り組むことができる。
- (2) 社会的な〈思考・判断・表現〉
印紙法や茶法の制定にあたって、アメリカ植民地がとった行動について推察しグループで意見をまとめ、発表することができる。
- (3) 社会的な〈知識・理解〉
アメリカ独立革命の経緯を理解し、その背景にある国際関係について理解することができる。
- (4) 資料活用の〈技能〉
アメリカ独立宣言の資料を見て、啓蒙思想との関連について考察することができる。

12. 参考文献

明解 世界史 A（帝国書院）

明解世界史図説 エスカリエ（帝国書院）

最新世界史図説 タペストリー（帝国書院）

13. 本時の展開

項目	指導内容	生徒の学習内容	生徒の活動	留意点・評価
導入 8分	<p>問い1 アメリカのイメージを共有しよう。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> アメリカに関する写真を見せて、イメージを共有させる 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカに関するイメージをグループで共有し、画一的なイメージがあることを認識する 	<ul style="list-style-type: none"> 机をあわせ、グループを形成する。 各自の意見をグループで共有し、発表する。 	<p>【予想される回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> アップル、ハンバーガー、大きい、多様な人 <関心・意欲・態度> グループの決定に時間をかけない。
展開1 12分	<ul style="list-style-type: none"> 七年戦争の影響 印紙法への反対 	<ul style="list-style-type: none"> 七年戦争の結果、イギリスは財政が悪化する。それを補うために13植民地に課税する。 印刷物に税を課された。そして「代表なくして課税なし」を合言葉に撤回させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 13植民地は簡単に受け入れられることなく、対立につながっていくことを理解する。 あらゆる印刷物に税を課されたことは、植民地の人々の反感を買うことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 13植民地はイギリスからの移民で構成されていることを示唆 あらゆる印刷物の例を提示。
	<p>問い2 「代表なくして課税なし」とはどういう意味だろうか？</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 茶法への反対 大陸会議で抗議 	<ul style="list-style-type: none"> 植民地の人々に選挙権はなく、代表である議員を本国に送ることができなかった。 茶法：東インド会社に茶の独占権が与えられた。その結果、ボストン茶会事件が起こる。それに対しイギリスは強硬的な姿勢をとる。 イギリスの強硬的な行動に植民地は団結力を強める。 植民地の人々には独立支持派と反対派がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 植民地はそれぞれ独自のルールを用いて植民地ごとに自治を行っていたことを理解する。 当時の紅茶の重要性について理解する。 植民地の人々は一致団結し、イギリスとの対決に向かっていく。 独立を後押しするために革命支持派は行動を起こすことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 紅茶についての示唆 愛国派と国王派と中立派の示唆
まとめ 2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容の確認、そして次回の予告。 今回はフランス革命を学習する。 ヨーロッパ諸国を通して世界中が、アメリカ独立革命の影響を大きく受けたことを理解する。 			

展開2 23分	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ独立戦争の勃発 	<ul style="list-style-type: none"> レキシントンとコンコルドでの争いをきっかけにアメリカ独立戦争が起こる。植民地側の総司令官にはワシントンが任命される。 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ独立戦争が起こり、植民地側が二度目の大陸会議を開き、武力で抵抗する意思を固めることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の地図で確認する
	<p>問い3 文①②③のうちロックの影響を強く受けているのはどれか？</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ独立宣言の発表 ヨーロッパ諸国の支援 合衆国憲法の特徴 憲法の形式 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ独立宣言はジェファソンによって起草され、ジョンロックの影響を受けた。 基本的人権と革命権が明記された。しかし先住民と黒人奴隷の権利は回復せず。 フランスをはじめとする、ヨーロッパ諸国の支援を得る。ヨークタウンの戦いにてアメリカ勝利。 共和政、連邦制、三権分立を採用している。 世界初の文章から構成される成文憲法である。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由と平等と国民主権と革命権を示した文章であることを理解する。 グループで意見を共有し、発表する。 ヨーロッパ諸国が参戦したことにより、アメリカ独立革命の考えがヨーロッパに伝達することを理解する。 国民に主権があることを明記していることを理解する。モンテスキューの考えが取り入れられる。 共和政国家として、自由と平等を明記した初めての憲法であることを理解する。今後世界的に市民社会を求める動きになっていくことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> <技能> ノート、教科書を見返し、答えを探す。以前学習した啓蒙思想と関連があることを示唆。 トマス・ペインの後押しを示唆 <知識・理解> 義勇兵ラファイエットがフランス革命を指導することを示唆 イギリスは国王が存在する立憲君主政であり、アメリカは共和政であることを示唆
まとめ 2分	<ul style="list-style-type: none"> 次回はフランス革命を学習する。 ヨーロッパ諸国を通して世界中が、アメリカ独立革命の影響を大きく受けたことを理解する。 			

世界史 A 授業プリント

年 組 番号 名前 _____

1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 (p98~)

○イギリスから独立するアメリカ (p98~99)

ポイント

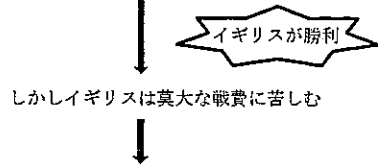
- ・アメリカ独立の背景について考察する
- ・アメリカ独立が与える影響について考察する

☆グループワークの約束事

- ・積極的に意見を言う。正誤については問わない。
- ・出てきた意見について尊重する。
- ・発表はできる限り分担する。人に押し付けない。
- ・発表者にはみんなで拍手を送ろう。

問い1 アメリカ合衆国についてのイメージを共有しよう
みんなで意見を出し合おう

1756~1763 世界規模でのイギリスとフランスの争い・・・(1)



(2)) に負担させようとする

1765 (3) 法・・・イギリスが13植民地の多くの印刷物に税金を課す
→「代表なくして課税なし」を合言葉に撤回させる

問い2 「代表なくして課税なし」とはどういう意味か考えよう。

1773 茶法・・・東インド会社が植民地への茶を独占販売
→ (4)) などの反対運動が起こる

→イギリスはボストン港を封鎖

1774 (5)) で強く抗議

1775~83 アメリカ独立戦争 に発展
植民地の総司令官には、初代大統領となる (6)

トマス=ペイン「コモン=センス」で独立を後押し

1776 (7)) を発表
起草者トマス=ジェファソン
フランクリンとジョン=アダムスによる修正

問い3 文①②③でロックの影響を強く受けているのはどれか?

①

②

③

義勇兵 (8)) の存在
フランスをはじめとするヨーロッパ諸国の支援
武装中立同盟の結成

1781 ヨークタウンの戦いでアメリカ勝利
1783 パリ条約でアメリカ独立が承認、アメリカ連合規約の発効

憲法制定会議

1787 (9)) が制定

- ・共和政：国民が主権を持って統治する
- ・連邦制：連邦政府が各州を統治する
- ・(10))：権力が立法・司法・行政に分けられる。

主権が国民にあることを明記した初めての (11)) 憲法
→ヨーロッパ諸国を通して世界へ広がっていく自由と平等の精神

「アメリカ独立宣言」(1776年7月4日)(抜粋)

We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal, that they are endowed by their Creator with certain inalienable Rights, that among these are Life, Liberty and the pursuit of Happiness. (以下略)

われわれは、次の真理を自明なものとする。すべての人は平等に造られていること。彼らは、その創造者によって、一定の譲るべからざる権利を与えられていること。それらの権利を保障するために、人々の間に政府が置かれ、その正当な権力は、統治者の同意にもとづくこと、どんな形勢の政治でも、この目的に資するものとなれば、それを変更または廃止して新しい政府を設け、その基礎となる原理、その組織する権力の形態が、彼らの安全と幸福をもたらすに最もふさわしいと思われるようにすることは、人民の権利であること。



▶「独立宣言の採択」ジェファソンらが起草、フランクリンが採択、外国の支援獲得と、国内の国三派別三のために公表された。年号、独立宣言という「人間」には、先住民や黒人は含まれていなかった。